

1 本園の教育理念・教育方針

教育理念：【知性の源を育む】 知性：感謝の心・自分で考える力・自己肯定・共感力・諦めない心等
教育方針：① **宗教教育：**神さまと周りの人たちから愛されていることに気づく【感謝の心】
 ② **モンテッソーリ教育：**幼稚園生活の経験を通して自分自身が好きになる【自己肯定・考える力・諦めない心】
 ③ **平和教育：**集団生活の出会いと関わりを通して神さまと周りの人を大切にする【共感力】

2 本年度 年間目標（テーマ）

ぼくも わたしも あなたもいいね！みんな だいすき すてきな なかま！！

3 本年度 重点的に取り組む目標・計画

- ・園生活のすべてを『お仕事』（モンテッソーリ活動）と捉え、登園から降園までのすべての活動において、個々の子どもの主体性・自由性に基づいたものとし、教師はそれを認め必要最小限の援助を行うようにする。
- ・家庭との連携を丁寧に行い、保護者の安心感を得ることで信頼関係を構築し、子ども達の成長への協力と共通意識を深める。
- ・防災対策として、園舎の耐震補強工事を具体的に計画し進めていく。
- ・未就園児クラスの子供達と園児の交流、教師間の共通理解に努め、幼稚園としての連帯意識を深める。

4 評価項目の達成および取り組み状況

宗教教育	<ul style="list-style-type: none"> ・園生活の中で、園児が身近で自然に宗教的な体験ができるよう、祈りや聖歌、絵本『こどものせかい』のメッセージ等を通して、わかりやすく伝えていくようにした。。 ・園生活の関わりの中で、子ども達がお互いの違いを受け入れ認め合い、祈り合う経験をしている。教師間でも同様に日々祈り合い、支え合うことができた。 ・クリスマスお祝い会の体験を通し、神様の御業や聖書の出来事について知ることで、命の大切さや有難さ、命あるすべてのものの存在の意味を実感できるようになった。
モンテッソーリ教育	<ul style="list-style-type: none"> ・モンテッソーリ教育が最も大事にしている人間教育について理解を深めるため、園内研修を重ね、教師が楽しんで提供できるように心がけた。 ・『お仕事』を通して子ども達が、日々自立し正常化していく様子を丁寧に観察した。 ・園児一人ひとりの成長や内的欲求・興味関心に沿った環境準備を工夫し心がけた。
平和教育	<ul style="list-style-type: none"> ・縦割クラスや学年集団の中で、それぞれの子供達が自分の役割や居場所を見つけ、安心して過ごすことにより、自己肯定感や共感の気持ちを持てるよう配慮した。 ・社会情勢に触れ、世界や地域の困っている人達のことを知らせる機会を作ることにより、子ども達が自ら考えて自分達にできる援助や祈り、献金等を行っている。
保護者対応	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の集い、保育参観や個人懇談等で保護者と話す機会において、幼稚園の方針や保育の状況等の共通理解と情報共有に努めるようにした。 ・年間行事（運動会・園外保育・子どもの祝福式・クリスマスお祝い会等）を通して、子ども達の成長を共に見守り喜びや心配事などを共有するように、心がけた。 ・保護者からの相談等には、いつでも対応できることを知らせ、心がけるようにした。
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達に防災について知らせるとともに、定期的に防災訓練（火事・地震・津波）を実施することができた。 ・子どもの日々の健康状態を把握し、適切な対応・連絡・報告・経過打診を行った。 ・日常の遊具、用具等の点検や安全な環境設定を行った。

子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・園にかかわるすべての保護者の思いや意見等に寄り添いながら、相談に応じた提案や助言等を行った。 ・預かり保育のより良い充実に向けて、環境の見直しや人的配置等に努めた。
学校・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・幼小連絡会、療育面談等には積極的に参加し、子ども達について具体的な情報交換ができるようにした。 ・周辺地域の方々に対しては、園前道路が狭く車走行において不便をかけているため、折に触れお詫びと感謝を伝えるように努めている。

5 園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・コロナ禍で集会などの制限はあったが、園の教育理念・教育目標を少人数ごとの入園説明会やオープンスクールなどの機会に、保護者に伝えるように心がけ、実施することができた。
- ・日々の職員朝礼や終礼、会議、研修等の中で、教育理念や教育目標についての確認や話し合いの機会を増やすことにより、職員間の共通理解や意思疎通が大変スムーズになった。

今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・宗教教育、モンテッソーリ教育、平和教育の3本柱について、園に関わるすべての教員(正職・非常勤・パート勤務含む)が理解し、共に実践していけるように、説明し共に働く中で、相互のコミュニケーションの機会を増やし理解と信頼を深める。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方の要望を把握しながら、必要に応じて子育て相談やカウンセリングの場を設けていく。 ・未就園児の保護者の方に広く一般に呼びかけ、園見学や園庭開放、イベント等を実施していく。
卒園後の関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・卒園後もホームページやおりこうニュース、インスタグラム等を通して、幼稚園の情報を知らせる機会を設ける。 ・卒園後もお仕事や季節行事に参加できる機会を提供する。

7 学校関係者の評価

保育内容評価について学校関係評価委員12名の意見を集約

- ・神様の存在や目に見えないものを信じる心を育ててもらいコロナ禍でも「いつも見守ってもらっている」という安心感をもって過ごしていた。「お父さんお母さんも大丈夫よ」と子どもから励まされていた。
- ・入園前説明会や保護者向けの手帳等によって幼稚園の事がわかりやすく説明されたので、困ることがなかった。また先生達には、いつも保護者の心に寄り添ってもらい、大きな心の支えとなった。
- ・自分で考え、選び、最後まで行動することができ、友達と協力し助け合うことが自然にできていた。
- ・友達、先生、神様 MARIA様みんなに愛されていることを感じて、安心してすごしていた。
- ・人を思いやる心、命を大切に作る心、自然や美しいものに感動する心等が養われ、豊かな心の子どもに成長した。
- ・個々の子ども達を見守ってもらっていたので、自己肯定感が育ち、他の人達を認める力と心が培われた。
- ・温かく穏やかな雰囲気の中、「子ども達のため」をいつも一番に考えて、様々な取り組みをしてくれた。
- ・子どもが家庭でも日々、手を合わせて感謝することを実践している姿を見てとても有難いと感じている。
- ・園での出来事や怪我等の伝達メモにおいて丁寧に状況説明と共に、頑張っている様子等も伝えてくれた。

8 財務状況

- ・公認会計士監査により、適正に運営されていると認められる。